

宮崎県の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが 確認されました(今シーズン5例目)!

- H P A I ウイルスは、国内北から南までに侵入しています。
- 消石灰散布・入場時の消毒等、予防対策を徹底してください。

高病原性鳥インフルエンザ発生状況（令和7年シーズン）

★ 家きん飼養農場での発生 (3道県5事例)

都道府県	発生日	飼養羽数	
北海道	R7.10.22	約45.9万羽	採卵鶏
北海道	R7.11.2	約23.6万羽	採卵鶏
新潟県	R7.11.4	約63.0万羽	採卵鶏
新潟県	R7.11.9	約28.0万羽	採卵鶏
宮崎県	R7.11.22	約4.8万羽	肉用鶏
計	5戸	約165.3万羽	

家きん飼養農場国内5例目

発 生 日:11月22日
所 在 地:宮崎県日向市(1例目)
飼養状況:約4.8万羽(肉用鶏)

●野鳥における 鳥インフルエンザ 発生状況 (1道7県35例)

都道府県	事例数
北海道	16
宮崎県	5
山形県	1
鹿児島県	8
新潟県	2
福岡県	1
群馬県	1
福島県	1
合 計	35

- ① 衛生管理区域に立ち入る人・車両等の消毒、区域専用の衣服及び靴の設置
- ② 家きん舎に立ち入る人等の消毒、家きん舎ごとの専用の靴の設置
- ③ 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置・点検及び修繕
- ④ 家きん舎周囲、飲水の消毒

予防対策

死亡羽数が増える等の異状が見られたら、すぐに下記まで連絡して下さい。

京都府南丹家畜保健衛生所TEL：0771-42-3308（夜間・休日も転送機能で連絡可能）